

平成 29 年度農業後継者特別支援事業

事業主体名 志布志ピーマン環境制御研究会

1 目的

トマトなどの施設果菜類では、IT 技術を活用した環境モニタリング機器や CO₂ 発生装置等の導入による環境制御技術によって増収を図るスマート農業が確立されつつある。環境制御にかかる重要な指標を得るためには、栽培中に作物の生育調査やリアルタイム栄養診断を行わなければならない。ピーマンにおいてはこれらの技術が確立の途上であるため、関係機関や専門家との検討会や先進地事例調査による情報収集に併せ、リアルタイム栄養診断が可能な簡易型の測定機器導入を図り、研究会員の生産者自身が実践・研究活動を行う。研究会活動で得られた研究成果は関係機関連携のもとに、将来的には広く地域に普及させ、産地の生産振興に資する。

2 実施状況

(1) 先進地視察の実施



環境制御先進地である高知県の現場を実際に見ることができ、活動の参考になった。

(2) 生育調査・現地検討会の実施



定期的な生育調査，現地検討を行った。また，事業助成で購入した機器で土壌や植物体の成分を測定し検討の材料とした。

3 今後の課題，取り組み

取り組みは緒に就いたばかりで，成果を広く一般化するためにはさらにデータを蓄積する必要があるため，次年度も関係機関と情報交換しながら本年同様の活動を継続する。